

香南市地域防災計画  
香南市水防計画  
防災会議委員意見  
新旧対照表

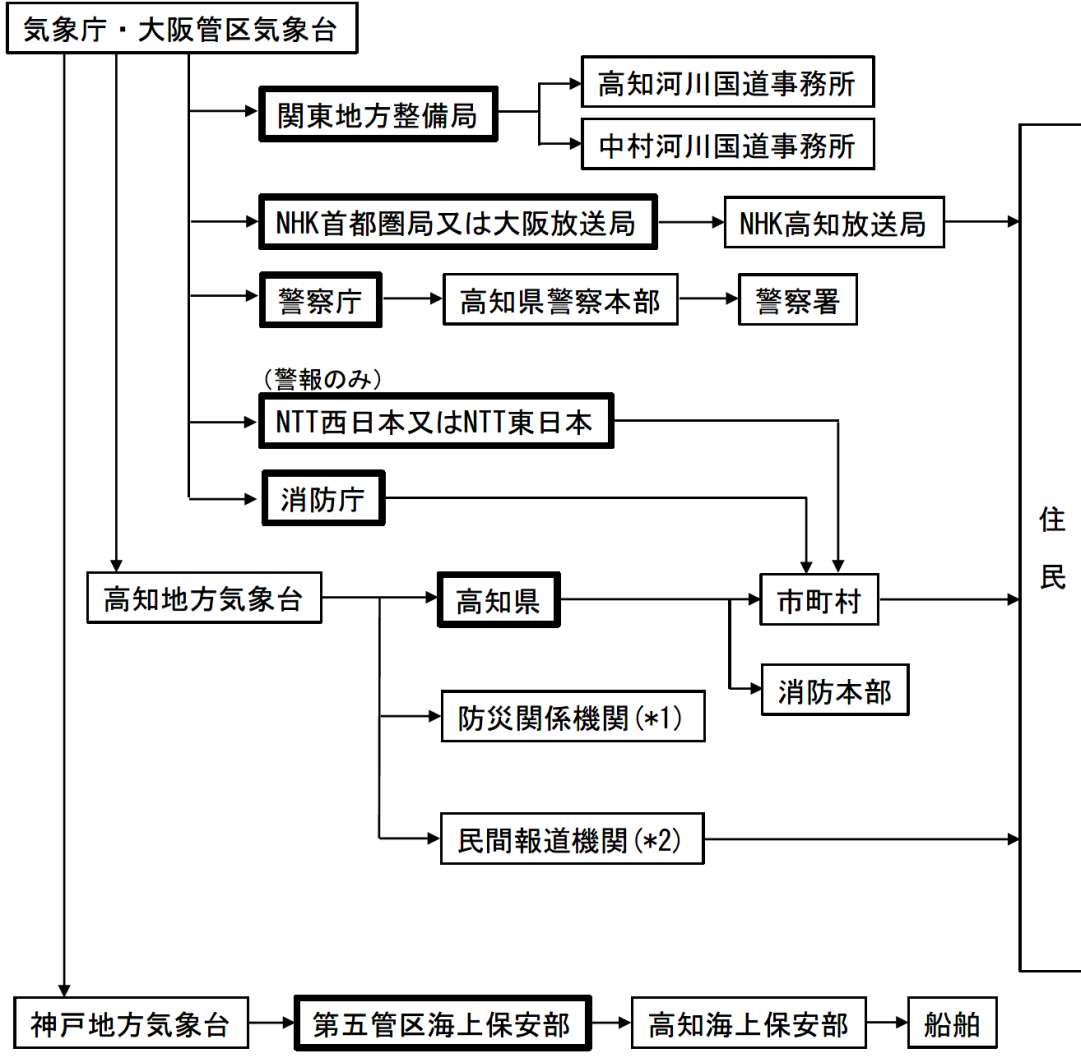
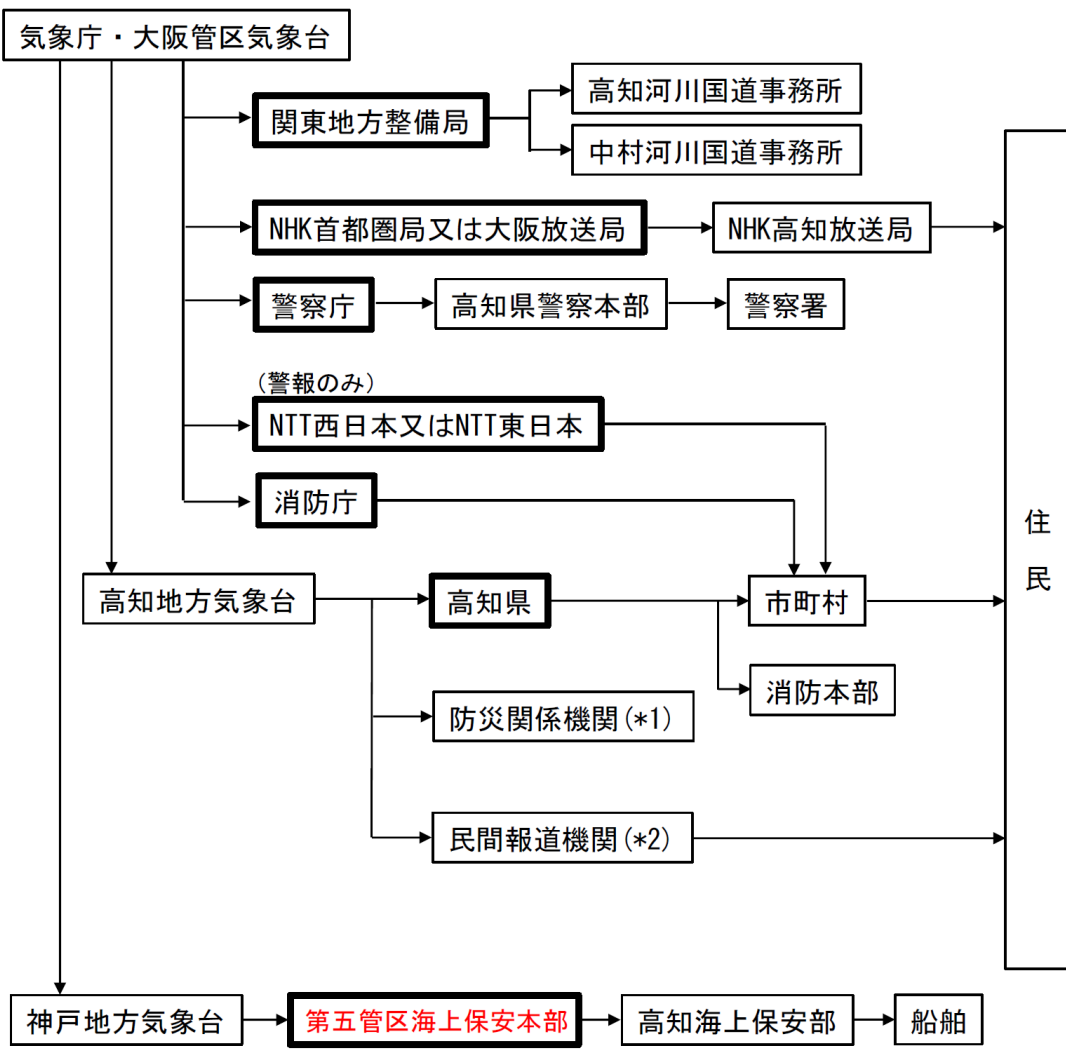
令和6年3月修正  
香南市防災会議

香南市地域防災計画<新旧対照表>

※赤字下線部分：修正箇所

【目次】

第3編 公助	3
第2部 いのちを守る・つなぐ	3
第1章 災害応急活動体制の立ち上げ	3
第2部 いのちを守る・つなぐ	3
第1章 災害応急活動体制の立ち上げ	3
第5部 南海トラフ地震防災対策推進計画	5
第1章 総則	5
第3章 重要水防箇所	7
第4章 予報および警報	7
第1節 気象庁が行う予報および警報	7

委員意見反映前	委員意見反映後	修正理由
<p>第2部 いのちを守る・つなぐ 第1章 災害応急活動体制の立ち上げ 第2節 情報通信 3 災害情報の収集 地震・津波に関する情報の収集 (1) 情報の収集・連絡系統</p>  <p>・太枠の機関は気象業務法に基づく法定伝達機関 ・高知河川国道事務所、中村河川国道事務所、高知海上保安部、NHK高知放送局、自衛隊、高知県警察本部へは高知地方気象台よりバックアップ回線を接続</p> <p>* 1 防災関係機関：国土交通省高知港湾・空港整備事務所、四国電力送配電(株)高知系統制御所、高知新聞社、高知県無線漁業協同組合・室戸漁業無線局に限る * 2 民間報道機関：FM高知、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、高知さんさんテレビに限る</p>	<p>第2部 いのちを守る・つなぐ 第1章 災害応急活動体制の立ち上げ 第2節 情報通信 3 災害情報の収集 地震・津波に関する情報の収集 (1) 情報の収集・連絡系統</p>  <p>・太枠の機関は気象業務法に基づく法定伝達機関 ・高知河川国道事務所、中村河川国道事務所、高知海上保安部、NHK高知放送局、自衛隊、高知県警察本部へは高知地方気象台よりバックアップ回線を接続</p> <p>* 1 防災関係機関：国土交通省高知港湾・空港整備事務所、四国電力送配電(株)高知系統制御所、高知新聞社、高知県無線漁業協同組合・室戸漁業無線局に限る * 2 民間報道機関：FM高知、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、高知さんさんテレビに限る</p>	<p>現行 P3-167 修正案 P3-167 高知地方気象台からの意見に基づく修正</p>
<p>風水害に関する情報の収集 (2) 収集・連絡する情報の種類 ①特別警報、警報および注意報 (別表1) 警報・注意報発表基準一覧表 令和4年5月26日現在</p>	<p>風水害に関する情報の収集 (2) 収集・連絡する情報の種類 ①特別警報、警報および注意報 (別表1) 警報・注意報発表基準一覧表 令和5年11月30日現在</p>	<p>現行 P3-175 修正案 P3-175 高知地方気象台からの意見に基づく修正</p>

委員意見反映前				委員意見反映後				修正理由		
発表官署 高知地方気象台										
香南市	府県予報区	高知県		香南市	府県予報区	高知県				
	一次細分区域	中部			一次細分区域	中部				
	市町村等をまとめた地域	高知中央			市町村等をまとめた地域	高知中央				
種類	基準			種類	基準					
警報	大雨(浸水害)	表面雨量指数基準	28		大雨(浸水害)	表面雨量指数基準	28			
	大雨(土砂災害)	土壌雨量指数基準	215		大雨(土砂災害)	土壌雨量指数基準	215			
	洪水	流域雨量指数基準	夜須川流域=17.8、香宗川流域=23.1、山北川流域=10、鳥川流域=9.5		洪水	流域雨量指数基準	夜須川流域=18.1、香宗川流域=23.2、山北川流域=10、鳥川流域=9.5			
		複合基準※1	夜須川流域=(12、16.5)、香宗川流域=(12、19.5)、山北川流域=(12、9)			複合基準※1	夜須川流域=(12、16.5)、香宗川流域=(12、 <b>19.6</b> )、山北川流域=(12、9)			
		指定河川洪水予報による基準	物部川[深淵(有堤)]			指定河川洪水予報による基準	物部川[深淵(有堤)]			
	暴風	平均風速	陸上	20m/s		暴風	平均風速	陸上	20m/s	
			海上	25m/s				海上	25m/s	
	暴風雪	平均風速	陸上	20m/s 雪を伴う		暴風雪	平均風速	陸上	20m/s 雪を伴う	
			海上	25m/s 雪を伴う				海上	25m/s 雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ 10cm		大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ 10cm			
	波浪	有義浪高	6.0m		波浪	有義浪高	6.0m			
	高潮	潮位	2.0m		高潮	潮位	2.0m			
	注意報	大雨	表面雨量指数基準	15		大雨	表面雨量指数基準	15		
土壌雨量指数基準			159		土壌雨量指数基準		159			
洪水		流域雨量指数基準	夜須川流域=14.2、香宗川流域=18.4、山北川流域=8、鳥川流域=7.6		洪水	流域雨量指数基準	夜須川流域=14.4、香宗川流域=18.5、山北川流域=8、鳥川流域=7.6			
		複合基準※1	夜須川流域=(8、14.2)、香宗川流域=(8、17.6)、山北川流域=(8、8)、鳥川流域=(8、7)			複合基準※1	夜須川流域=( <b>7</b> 、14.4)、香宗川流域=( <b>7</b> 、17.6)、山北川流域=(8、8)、鳥川流域=(7、7)			
		指定河川洪水予報による基準	物部川[深淵(有堤)]			指定河川洪水予報による基準	物部川[深淵(有堤)]			
強風		平均風速	陸上	12m/s		強風	平均風速	陸上	12m/s	
			海上	15m/s				海上	15m/s	
風雪		平均風速	陸上	12m/s 雪を伴う		風雪	平均風速	陸上	12m/s 雪を伴う	
			海上	15m/s 雪を伴う				海上	15m/s 雪を伴う	
大雪		降雪の深さ	12時間降雪の深さ 5cm		大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ 5cm			
波浪		有義浪高	3.0m		波浪	有義浪高	3.0m			
高潮		潮位	1.2m		高潮	潮位	1.2m			
雷		落雷等により被害が予想される場合			雷	落雷等により被害が予想される場合				
融雪				融雪						
濃霧	視程	陸上	100m		濃霧	視程	陸上	100m		
		海上	500m				海上	500m		
乾燥	最小湿度 40%で実効湿度 60%			乾燥	最小湿度 40%で実効湿度 60%					
なだれ	積雪の深さが 50cm 以上あり次のいずれか 1 降雪の深さ 20cm 以上 2 最高気温が 2℃以上 3 かなりの降雨			なだれ	積雪の深さが 50cm 以上あり次のいずれか 1 降雪の深さ 20cm 以上 2 最高気温が 2℃以上 3 かなりの降雨					
低温	最低気温 - 4℃以下※2			低温	最低気温 - 4℃以下※2					
霜	3月20日以降の晩霜			霜	<b>晩霜期 最低気温 3℃以下</b>					
着氷				着氷						
着雪	24時間の降雪の深さ：20cm 以上 気温：- 2℃～ 2℃			着雪	24時間の降雪の深さ：20cm 以上 気温：- 2℃～ 2℃					
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	120mm		記録的短時間大雨情報	1時間雨量	120mm				
※1 (表面雨量指数、流域雨量指数) の組み合わせによる基準値を表しています。				※1 (表面雨量指数、流域雨量指数) の組み合わせによる基準値を表しています。						
※2 気温は高知地方気象台の値				※2 気温は高知地方気象台の値						

委員意見反映前	委員意見反映後	修正理由
<p>第5部 南海トラフ地震防災対策推進計画</p> <p>第1章 総則</p> <p>第2節 災害想定</p> <p>1 南海トラフ地震について</p> <p>駿河湾から九州にかけての太平洋沿岸では、海側のフィリピン海プレートと日本列島側のユーラシアプレートなど大陸側のプレートが接し、プレート境界には南海トラフが形成されている。</p> <p>フィリピン海プレートは、毎年北西に3～5cm程度の速さで、南海トラフから大陸側のプレートの下に潜り込んでおり、大陸側のプレートの端が引きずり込まれることにより徐々に歪が蓄積される。その歪が限界に達し、元に戻ろうとするととき破壊が起こり、巨大なエネルギーが一気に放出され海溝型の巨大地震が発生する。</p> <p>こうした海溝型の巨大地震は、歴史的にもかなり規則正しく概ね一定の間隔で発生しており、前兆から発生までのメカニズムも比較的良好に分かっている。駿河湾から土佐湾までの南海トラフのプレート境界では、歴史的に見て、概ね100～150年の間隔で海溝型の巨大地震が発生している。昭和東南海地震および昭和南海地震が起きてから <u>70年近くが経過しており</u>、南海トラフにおける次の大地震発生の可能性は高まっている。</p> <p>過去に南海トラフで起きた大地震は多様性があるため、次に発生する地震の震源域の広がりを正確に予測することは、現時点の科学的知見では困難である。そのため、南海トラフをこれまでのような南海・東南海領域という区分をせず、南海トラフ全体を1つの領域として考え、この領域では大局的に100～200年で繰り返しM8～9クラスの地震が起きていると仮定し、災害の想定を行う必要がある。</p>	<p>第5部 南海トラフ地震防災対策推進計画</p> <p>第1章 総則</p> <p>第2節 災害想定</p> <p>1 南海トラフ地震について</p> <p>駿河湾から九州にかけての太平洋沿岸では、海側のフィリピン海プレートと日本列島側のユーラシアプレートなど大陸側のプレートが接し、プレート境界には南海トラフが形成されている。</p> <p>フィリピン海プレートは、毎年北西に3～5cm程度の速さで、南海トラフから大陸側のプレートの下に潜り込んでおり、大陸側のプレートの端が引きずり込まれることにより徐々に歪が蓄積される。その歪が限界に達し、元に戻ろうとするととき破壊が起こり、巨大なエネルギーが一気に放出され海溝型の巨大地震が発生する。</p> <p>こうした海溝型の巨大地震は、歴史的にもかなり規則正しく概ね一定の間隔で発生しており、前兆から発生までのメカニズムも比較的良好に分かっている。駿河湾から土佐湾までの南海トラフのプレート境界では、歴史的に見て、概ね100～150年の間隔で海溝型の巨大地震が発生している。昭和東南海地震および昭和南海地震が起きてから <u>70年以上が経過しており</u>、南海トラフにおける次の大地震発生の可能性は高まっている。</p> <p>過去に南海トラフで起きた大地震は多様性があるため、次に発生する地震の震源域の広がりを正確に予測することは、現時点の科学的知見では困難である。そのため、南海トラフをこれまでのような南海・東南海領域という区分をせず、南海トラフ全体を1つの領域として考え、この領域では大局的に100～200年で繰り返しM8～9クラスの地震が起きていると仮定し、災害の想定を行う必要がある。</p>	<p>現行 P3-493</p> <p>修正案 P3-493</p> <p>高知地方気象台からの意見に基づく修正</p>

香南市水防計画<新旧対照表>

※赤字下線部分：修正箇所

【目次】

第3章 重要水防箇所	7
第3編 公助	3
第2部 いのちを守る・つなぐ	3
第1章 災害応急活動体制の立ち上げ	3
第2部 いのちを守る・つなぐ	3
第1章 災害応急活動体制の立ち上げ	3
第5部 南海トラフ地震防災対策推進計画	5
第1章 総則	5
第3章 重要水防箇所	7
第4章 予報および警報	7
第1節 気象庁が行う予報および警報	7

現行（令和5年3月）				修正案（令和6年3月）				備考
<b>第3章 重要水防箇所</b> <b>■ 重要水防箇所評定基準</b>				<b>第3章 重要水防箇所</b> <b>■ 重要水防箇所評定基準</b>				現行 P13 修正案 P13 高知河川国道事務所の意見に基づく修正
<b>種別</b>	<b>重要度等</b>			<b>種別</b>	<b>重要度等</b>			
越水（溢水）	B 水防重要な区間 計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）と現況の堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない箇所。			基礎地盤漏水	B 水防重要な区間 堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障が生じていないが、進行性がある基礎漏水に関する変状が集中している箇所。 堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）はないが、基礎地盤漏水の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。 水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。			
基礎地盤漏水	B 水防重要な区間 堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）があり、安全が確認されていない箇所、又は堤防の機能に支障が生じていないが、進行性がある基礎漏水に関する変状が集中している箇所。 堤防の機能に支障が生じる基礎地盤漏水に関する変状の履歴（被災状況が確認できるもの）はないが、基礎地盤漏水の土質等からみて堤防の機能に支障が生じる変状の生じるおそれがあると考えられる箇所。 水防団等と意見交換を行い、基礎地盤漏水が生じる可能性が高いと考えられる箇所。			水衝・洗掘	B 水防重要な区間 水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れにならない程度に洗掘されているが、その対策が未施工の箇所。			
水衝・洗掘	A 水防上最も重要な区間 水衝部にある堤防の前面の河床が深掘れしているが、その対策が未施工の箇所。 橋台取り付け部やその他の工作物の突出箇所、堤防護岸の根固め等が洗われ一部破損しているが、その対策が未施工の箇所。 波浪による河岸の決壊等の危険に瀕した実績があるが、その対策が未施工の箇所。			越水（溢水）	A 水防上最も重要な区間 計画高水流量規模の洪水の水位（高潮区間の堤防にあっては計画高潮位）が現況の堤防高を越える箇所。			
<b>第4章 予報および警報</b> <b>第1節 気象庁が行う予報および警報</b> <b>■（別表1） 警報・注意報発表基準一覧表</b>				<b>第4章 予報および警報</b> <b>第1節 気象庁が行う予報および警報</b> <b>■（別表1） 警報・注意報発表基準一覧表</b>				現行 P20 修正案 P20 高知地方気象台の意見に基づく修正
香南市		府県予報区	高知県	香南市		府県予報区	高知県	
		一次細分区域	中部			一次細分区域	中部	
		市町村等をまとめた地域	高知中央			市町村等をまとめた地域	高知中央	
<b>種類</b>		<b>基準</b>						
警報	大雨（浸水害）	表面雨量指数基準	28	警報	大雨（浸水害）	表面雨量指数基準	28	
	大雨（土砂災害）	土壌雨量指数基準	215		大雨（土砂災害）	土壌雨量指数基準	215	
	洪水	流域雨量指数基準	夜須川流域=17.8、香宗川流域=23.1、山北川流域=10、鳥川流域=9.5		夜須川流域=18.1、香宗川流域=23.2、山北川流域=10、鳥川流域=9.5	洪水	流域雨量指数基準	夜須川流域=18.1、香宗川流域=23.2、山北川流域=10、鳥川流域=9.5
		複合基準※1	夜須川流域=（12、16.5）、香宗川流域=（12、19.5）、山北川流域=（12、9）				複合基準※1	夜須川流域=（12、16.5）、香宗川流域=（12、19.6）、山北川流域=（12、9）
		指定河川洪水予報による基準	物部川〔深淵（有堤）〕				指定河川洪水予報による基準	物部川〔深淵（有堤）〕
暴風	平均風速	陸上	20m/s	暴風	平均風速	陸上	20m/s	

現行（令和5年3月）				修正案（令和6年3月）				備考	
注意報	暴風雪	平均風速	海上	25m/s	暴風雪	平均風速	海上	25m/s	
			陸上	20m/s 雪を伴う			陸上	20m/s 雪を伴う	
			海上	25m/s 雪を伴う			海上	25m/s 雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ 10cm		大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ 10cm		
	波浪	有義浪高	6.0m		波浪	有義浪高	6.0m		
	高潮	潮位	2.0m		高潮	潮位	2.0m		
	大雨	表面雨量指数基準	15		大雨	表面雨量指数基準	15		
		土壌雨量指数基準	159			土壌雨量指数基準	159		
	洪水	流域雨量指数基準	夜須川流域=14.2、香宗川流域=18.4、山北川流域=8、鳥川流域=7.6		洪水	流域雨量指数基準	夜須川流域=14.4、香宗川流域=18.5、山北川流域=8、鳥川流域=7.6		
		複合基準※1	夜須川流域= (8、14.4)、香宗川流域= (8、17.6)、山北川流域= (8、8)、鳥川流域= (8、7)			複合基準※1	夜須川流域= (7、14.4)、香宗川流域= (7、17.6)、山北川流域= (8、8)、鳥川流域= (7、7)		
		指定河川洪水予報による基準	物部川 [深淵 (有堤)]			指定河川洪水予報による基準	物部川 [深淵 (有堤)]		
	強風	平均風速	陸上	12m/s	強風	平均風速	陸上	12m/s	
			海上	15m/s			海上	15m/s	
	風雪	平均風速	陸上	12m/s 雪を伴う	風雪	平均風速	陸上	12m/s 雪を伴う	
			海上	15m/s 雪を伴う			海上	15m/s 雪を伴う	
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ 5cm		大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ 5cm		
	波浪	有義浪高	3.0m		波浪	有義浪高	3.0m		
	高潮	潮位	1.2m		高潮	潮位	1.2m		
	雷	落雷等により被害が予想される場合			雷	落雷等により被害が予想される場合			
	融雪				融雪				
	濃霧	視程	陸上	100m	濃霧	視程	陸上	100m	
			海上	500m			海上	500m	
	乾燥	最小湿度 40%で実効湿度 60%			乾燥	最小湿度 40%で実効湿度 60%			
	なだれ	積雪の深さが 50cm 以上あり次のいずれか 1 降雪の深さ 20cm 以上 2 最高気温が 2℃以上 3 かなりの降雨			なだれ	積雪の深さが 50cm 以上あり次のいずれか 1 降雪の深さ 20cm 以上 2 最高気温が 2℃以上 3 かなりの降雨			
	低温	最低気温 <u>-5℃</u> 以下 (気温は高知地方気象台の値)			低温	最低気温 <u>-4℃</u> 以下 (気温は高知地方気象台の値)			
	霜	<u>3月20日以降の晩霜</u>			霜	<u>晩霜期 最低気温 3℃以下</u>			
着氷				着氷					
着雪	24時間の降雪の深さ：20cm 以上 気温：-2℃～2℃			着雪	24時間の降雪の深さ：20cm 以上 気温：-2℃～2℃				
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	120mm		記録的短時間大雨情報	1時間雨量	120mm			
(2) 津波警報等の連絡系統				(2) 津波警報等の連絡系統				現行 P26 修正案 P26 高知地方気象台の意見に基づく修正	



現行 (令和5年3月)	修正案 (令和6年3月)	備考
<p>気象庁・大阪管区気象台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関東地方整備局 → 高知河川国道事務所 / 中村河川国道事務所</li> <li>NHK首都圏局又は大阪放送局 → NHK高知放送局</li> <li>警察庁 → 高知県警察本部 → 警察署</li> <li>(警報のみ) NTT西日本又はNTT東日本</li> <li>消防庁</li> <li>高知地方気象台 → 高知県 → 市町村 → 住民</li> <li>高知地方気象台 → 防災関係機関(*1) → 消防本部 → 住民</li> <li>高知地方気象台 → 民間報道機関(*2) → 住民</li> <li>神戸地方気象台 → 第五管区海上保安部 → 高知海上保安部 → 船舶</li> </ul> <p>・太枠の機関は気象業務法に基づく法定伝達機関  ・高知河川国道事務所、中村河川国道事務所、高知海上保安部、NHK高知放送局、自衛隊、高知県警察本部へは高知地方気象台よりバックアップ回線を接続</p> <p>* 1 防災関係機関：国土交通省高知港湾・空港整備事務所、四国電力送配電(株)高知系統制御所、高知新聞社、高知県無線漁業協同組合・室戸漁業無線局に限る  * 2 民間報道機関：FM高知、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、高知さんさんテレビに限る</p>	<p>気象庁・大阪管区気象台</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関東地方整備局 → 高知河川国道事務所 / 中村河川国道事務所</li> <li>NHK首都圏局又は大阪放送局 → NHK高知放送局</li> <li>警察庁 → 高知県警察本部 → 警察署</li> <li>(警報のみ) NTT西日本又はNTT東日本</li> <li>消防庁</li> <li>高知地方気象台 → 高知県 → 市町村 → 住民</li> <li>高知地方気象台 → 防災関係機関(*1) → 消防本部 → 住民</li> <li>高知地方気象台 → 民間報道機関(*2) → 住民</li> <li>神戸地方気象台 → 第五管区海上保安本部 → 高知海上保安部 → 船舶</li> </ul> <p>・太枠の機関は気象業務法に基づく法定伝達機関  ・高知河川国道事務所、中村河川国道事務所、高知海上保安部、NHK高知放送局、自衛隊、高知県警察本部へは高知地方気象台よりバックアップ回線を接続</p> <p>* 1 防災関係機関：国土交通省高知港湾・空港整備事務所、四国電力送配電(株)高知系統制御所、高知新聞社、高知県無線漁業協同組合・室戸漁業無線局に限る  * 2 民間報道機関：FM高知、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、高知さんさんテレビに限る</p>	